

新たな架け橋の 構築に向けて



「下水道展'08横浜」に出展



今年も多くの方々に下水道機構ブースにお越しいただきました

定員を超える来場者が集まった講演会



日本下水道協会主催の「下水道展'08横浜」が、7月22～25日の4日間にわたってパシフィコ横浜で開催されました。下水道機構では、日頃の研究成果のPRとともに、今年度に技術評価が完了した「ロータスプロジェクト」の7技術についてパネルによる紹介と資料・パンフレット等の配布を行いました。また最終日には、国土交通省都市・地域整備局下水道部の松原誠企画専門官、IKT（ドイツ地下構造物研究所）のローランド・W・ワニエクス所長、北九州市立大学大学院の楠田哲也教授をお迎えして記念講演会を開催し、200人を超える方々にお越しいただきました。

技術委員会を開催



平成19年度第1回技術委員会が8月8日に本機構8階特別会議室で開催され、「活性汚泥モデル」や「高効率型二軸スクリーブレス脱水機」など新規案件6テーマと継続案件5テーマについて審議が行われました。

初の公募型共同研究に研究成果証明書を交付

下水道機構初の公募型共同研究として実施した「マンホール浮上防止対策技術」3工法の研究成果がまとまり、共同研究者である3社・1団体に対し8月22日に新技術研究成果証明書を交付しました。



技術サロン



9月11日に開かれた264回目の技術サロンは、国内外で活躍されている吉村和就グローバル・ウォータ・ジャパン代表をゲストにお迎えし、世界における水ビジネスの現状と日本の戦略についてご講演いただきました。

新技術現場研修会を実施

第50回（平成20年度第2回）新技術現場研修会を10月8日につくば市の建設技術研究所および日本工営中央研究所で開き、50名の技術者が参加しました。東京都と福岡市における雨水浸水防止対策の水理模型実験の様態を見学しました。

